

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第1係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	バイパス機能をもった幹線道路を整備することで、南北地域間における交通の円滑化を促す。	主たる内容	市道01-40号線（起点：中手町3丁目～終点：熊野町6丁目）の道路整備 延長 L=1,600m 幅員 W=12.0~15.5m						
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市都市計画マスタープラン							
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	平成11年度～平成38年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・用地取得 2,021㎡ ・道路詳細設計（取付市道）		・道路設計（工外用仮設道路） ・用地測量		・用地取得 2,497㎡ ・物件移転補償 1件 ・地質調査 ・周辺整備工事		・用地取得 3,000㎡ ・周辺整備工事 ・JR調査協定委託		
成果		平成28年度までに、道路用地の面積割合で全体の約82%が取得できた。道路用地取得対象地の権利者との交渉により、事業に一定の理解を得て、用地交渉を始めることができた。河川管理者と道路計画に関して事前協議を行った。								
課題		神社用地の取得について、神社庁と調整が必要。河川管理者と占用区域について、調整が必要。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
活動指標		道路用地の面積取得率（%）		80.9	80.9	81.5	91.6	100		
活動指標		道路整備率（%）		—	—	—	—	10.0		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		82,061	70,647	338,781	463,170	合計 338,780,507円			
	財源	特定財源	0	0	31,081	136,800	需用費 38,900円			
		一般財源	82,061	70,647	307,700	326,370	委託料 59,200,630円			
	職員人件費②		12,249	6,581	15,943	13,960	工事請負費 163,907,280円			
	総事業費（①+②）		94,310	77,228	354,724	477,130	公有財産購入費 86,155,042円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		6,588,604		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		1,948,990		繰越金						
30年度以降の事業費見込		4,176,444								

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市街地における交通渋滞が慢性化していることから、南北地区間の移動に時間を要している。また通過車両が生活道路に流入し、生活道路の交通安全の確保が危惧される状況であるため、これらの対策を講じる必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	長期的な展望から、（仮）南北縦貫道路の一部区間の整備を行い、将来的な道路網を形成するため、本路線を都市計画決定し、広く市民からの理解を得て事業を推進する。また、社会資本整備総合交付金を活用して道路整備を進める。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	バイパス機能を持つ道路整備を行うことで、交通の円滑化や市街地内の渋滞が緩和され、地域間の交流が活発になる。また市民の身近な道路の安全性が確保されることで、良好な住環境が提供できる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路整備により、既存の幹線道路の混雑緩和と生活利便性の向上が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も計画通り用地取得を進めるとともに、平成28年度からは道路整備に先立って周辺整備工事に着手した。					

会計名			市道1-32号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	井ヶ谷町の旧集落を横断する狭隘道路の拡幅を行うことで、沿道の防災性及び沿道住民の利便性の向上を図る。		主たる内容	市道1-32号線（井ヶ谷町中ノ島）の道路整備 延長 L=250m 幅員 W=6.0m					
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令	道路法						
		対象者	市民		事業期間	平成14年度～平成32年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
				・用地取得 139㎡ ・物件移転補償 4件		(H27繰越分) ・用地取得 136㎡ ・物件移転補償 2件		・道路新設改良工事 50m		
成果		平成28年度までに、道路用地の面積割合で全体の約68%が取得できた。								
課題		一部、用地確定が出来ていない。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（%）			52.4	68.1	68.1	68.1	68.1	
活動指標		道路整備率（%）			40.8	40.8	40.8	60.8	60.8	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	19,615	8,652	10,000	合計	8,652,390円		
	財源	特定財源	0	0	8,652	0	委託料	299,861円		
		一般財源	0	19,615	0	10,000	公有財産購入費	3,217,600円		
	職員人件費②		0	4,466	938	0	補償、補填及び賠償金	5,134,929円		
	総事業費（①+②）		0	24,081	9,590	10,000				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		228,509		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		161,425		繰越金						
30年度以降の事業費見込		57,084								

会計名			市道1-32号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	狭隘道路の拡幅であり、市民生活、防災上も必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	東側から順次、用地購入、工事を進めていくため、事業効果が早く確認できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にすると共に、防災上の観点からも公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	年度ごとに区間を定め、施工していくため、利便性の向上が早期に確認できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
用地境界未確定地についての用地確定を行い、用地取得を進める。					

会計名			市道2-619号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	天王町と松坂町の幹線道路を結ぶ生活道路を新設整備して、生活基盤及び地域の住環境の向上を図る。		主たる内容	市道2-619号線（起点：天王町6丁目～終点：松坂町5丁目）の道路整備 延長 L=280m 幅員 W=6.0m					
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成12年度～平成32年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
				・用地取得面積 380㎡ ・物件移転補償 1件		・用地取得面積 694㎡ ・物件移転補償 7件		(H28繰越分) ・用地取得面積 81㎡ ・物件移転補償 1件 (H29契約分) ・道路新設改良工事 217m		
成果		平成28年度までに道路用地の面積割合で全体の約60%を取得できた。								
課題		事業に対する理解が得られず、用地交渉が難航している								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（%）			—	17.7	60.4	60.4	73.1	
活動指標		道路整備率（%）			—	—	—	77.5	77.5	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	5,673	61,747	35,000	合計 61,746,772 円			
	財源	特定財源	0	0	24,668	0	需用費 22,500 円			
		一般財源	0	5,673	37,079	35,000	委託料 3,279,105 円			
	職員人件費②		0	2,742	12,035	4,097	公有財産購入費 40,519,992 円			
	総事業費（①+②）		0	8,415	73,782	39,097	補償、補填及び賠償金 17,925,175 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		249,090		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		67,420		繰越金						
30年度以降の事業費見込		146,670								

会計名			市道2-619号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	地元要望に伴い、幹線道路と生活道路を結ぶ道路を新設する事業であるため必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	計画的に事業用地の確保を行っており、効果の確認ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域住民の利便性の向上を図る、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	生活道路を新設整備することにより、緊急車両の通行を可能にする等、地域住民の利便性が確保される。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	道路用地の確保できた区間から道路工事に着手をする。				

会計名			市道01-3号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第2係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	東境町と西境町を結ぶ地区の主要道路に歩道を設置することで、歩行者の安全性を確保する。 また、東境地区においては、排水路の整備を行い、断面不足を解消する。		主たる内容	市道01-3号線（起点：東境町大坪～終点：西境町石根）の道路整備 延長 L=890m 東境区間 延長 L=500m 幅員 W=11.9m 車道幅員 6.0m 歩道幅員 2.5m 水路幅 2.8m（歩道重複） 西境区間 延長 L=390m 幅員 W=8.5m 車道幅員 6.0m 歩道幅員 2.5m 橋りょう拡幅 1箇所					
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民		事業期間	平成20年度～平成28年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・用地取得 115㎡		(H26繰越分) ・用地取得 54㎡ (H27契約分) ・用地取得 76㎡ ・道路新設改良 144㎡		・道路新設改良 120m		—		
成果		・工事が完了した事により、東境町と西境町を結ぶ主要道路の歩車道分離ができ、歩行者の安全性を確保できた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			83.8	100.0	—	—	—	
活動指標		道路整備率（％）			70.8	86.5	100.0	—	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,635	80,346	29,264	0	合計	29,263,947 円		
	財源	特定財源	0	0	13,500	0	工事請負費	28,744,200 円		
		一般財源	4,635	80,346	15,764	0	補償、補填及び賠償金	519,747 円		
	職員人件費 ②		5,420	8,148	1,719	0				
	総事業費（①+②）		10,055	88,494	30,983	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		503,978		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		503,978		市町村土木補助（県）						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道01-3号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	道路利用者の利便性・安全性の向上の確保のため、道路の拡幅と歩道の設置を行う事業であるため必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	順次、歩車道を分離する工事を進めていくことにより、事業の効果が早く確認できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の、改良整備であり、道路管理者が行うべき公共性の高い工事である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路整備で歩道をつくることにより、道路を安全に通行できるようになる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
	平成28年度事業完了。 （平成29年3月10日工事完了）				

会計名			市道2-485号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	一方通行である生活道路を拡幅するとともに、歩車分離により車両と歩行者が安心して通行できる道路環境を確保する。	主たる内容	市道2-485号線（起点：銀座5丁目～終点：銀座4丁目）の道路整備 延長 L=220m 道路幅員 W=12.0m 車道幅員 W= 7.0m 歩道幅員 W= 2.5m						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	平成13年度～平成32年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
				・物件調査業務委託 1件		・用地取得 105㎡ ・物件移転補償 6件		(H28繰越分) ・用地取得 95㎡ ・物件移転補償 4件		
成果		用地交渉を行い、事業に対する理解を得ることに努めた。								
課題		用地交渉が難航している。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			69.5	69.5	86.9	86.9	100.0	
活動指標		道路整備率（％）			—	—	—	—	9.4	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	4,482	71,639	0	合計 71,639,354 円			
	財源	特定財源	0	0	2,274	0	需用費 11,000 円			
		一般財源	0	4,482	69,365	0	委託料 239,220 円			
	職員人件費 ②		0	2,899	3,439	1,669	公有財産購入費 10,352,530 円			
	総事業費（①+②）		0	7,381	75,078	1,669	補償、補填及び賠償金 61,036,604 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		473,892		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		331,483		繰越金						
30年度以降の事業費見込		142,409								

会計名			市道2-485号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	生活道路を拡幅し、歩車道を分離することにより、歩行者・自動車が安全に通行できる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	両側拡幅ではなく、南側拡幅とすることで、物件補償費が軽減できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路拡幅により、一方通行であった路線を交互通行とすることができるため、利用者の利便性が向上する。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
残りの地権者交渉を進め、用地取得ができた段階で、整備を進める。					

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	道路整備第1係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	既存の歩道及び車線を拡幅整備することで、南北地域間を結ぶ交通の円滑化及び児童を始めとする歩行者の安全性を確保する。	主たる内容	市道01-4号線（起点：井ヶ谷町池之浦～終点：今川町井田）の道路整備 延長 L=3,200m 幅員 W=13.5~15.0m （両側歩道 W=2.5~3.5m） ※起点の変更 旧：西境町蒲生池 新：井ヶ谷町池之浦					
	位置づけ	関連計画		第3次刈谷市都市計画マスタープラン					
		根拠法令		道路法					
		対象者	市民	事業期間	平成11年度～平成34年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 A 実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		(H25繰越分) ・道路新設改良 162m (H26契約分) ・道路新設改良 170m		・道路新設改良 180m ・橋りょう予備設計 ・道路詳細設計		・道路新設改良 105m		・道路新設改良 103m ・交差点詳細設計 ・道路詳細設計 ・橋りょう詳細設計 ・用地取得 3,259㎡	
成果		道路新設改良工事を実施し、道路整備率の進捗を図ることができた。							
課題		発杭川の河川改修計画に関連する区間について、施工方法や実施時期など河川管理者と事業調整する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標	道路整備率（％）		83.3	87.3	88.7	65.3	68.7		
活動指標	道路用地の面積取得率（％）		83.3	87.3	90.3	64.8	68.7		
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		50,385	73,196	31,315	201,617	合計	31,314,600円	
	財源	特定財源	16,500	9,000	3,900	6,800	工事請負費	31,314,600円	
		一般財源	33,885	64,196	27,415	194,817			
	職員人件費②		4,857	6,973	2,892	12,671			
	総事業費（①+②）		55,242	80,169	34,207	214,288			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		5,767,845		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		2,630,636		社会資本整備総合交付金（国）					
30年度以降の事業費見込		2,935,592							

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	当該路線は国道1号線と連絡する重要な路線であり、交通量が多い上に大型車の混入率が高い。また一部区間は通学路として利用されている。しかし、車線幅員や歩道幅員が狭く、交差点で慢性的な交通渋滞が発生しているため、交通の円滑化と安全性の向上を図る必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	社会資本整備総合交付金を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	ゆとりある暮らしを支える生活基盤として、道路の拡幅整備や交差点改良を行うことで、交通安全や生活利便性の向上を図るとともに企業の産業活動を促進する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路の整備は、県道岡崎豊明線との交差点改良、及びバイパス区間は道路の拡幅が完了しており、交差点の渋滞緩和と旧道沿線地区の良好な住環境の形成（騒音や交通安全確保）に一定の効果がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
計画区間の道路整備を継続するとともに、今川町交差点の改良を行い、北側延伸区間については用地買収及び道路設計を進める。					

会計名 一般会計			市道1-227号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	岩ヶ池公園の駐車場整備に伴う信号設置に合わせ、右折帯設置を行い、交通の安全を確保する。	主たる内容	市道1-227号線（東境町光ヶ丘）の道路整備 延長 L=160m 幅員 W=13.0~15.75m (歩道W=3.0mは公園敷地、一部道路)					
	位置づけ	関連計画		刈谷レストラーレ基本構想					
		根拠法令		道路法					
		対象者	市民	事業期間	平成24年度 ~ 平成32年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・用地取得面積 67㎡		_____		・用地取得面積 67㎡		_____	
成果		平成28年度までに道路用地の面積割合で全体の約35%を取得できた。							
課題		用地取得に難航している。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標	道路用地の面積取得率（%）			34.5	34.5	34.5	34.5	34.5	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,756	0	1,538	0	合計 1,538,339 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	公有財産購入費 1,538,339 円		
		一般財源	3,756	0	1,538	0			
	職員人件費 ②		2,957	940	938	0			
	総事業費（①+②）		6,713	940	2,476	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		133,783		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		9,213							
30年度以降の事業費見込		124,570							

会計名			市道1-227号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	年間800万人を超える利用者がある刈谷ハイウェイオアシスの需要に対応する事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	岩ヶ池公園整備事業との整合を図り、一体的に整備することで効率的かつ効果的な事業である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	レクリエーション拠点としての機能の充実が位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	休日の慢性的な渋滞や混雑を緩和し、利用者の安全及び周辺交通環境に寄与する事業である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
用地取得に難航しているが、引き続き早期事業完了に向け用地交渉を継続していく。					

会計名			市道2-643号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	市役所と県道知立東浦線を結ぶ歩車分離した道路を整備することで、市役所利用者の利便性向上と、東陽町商店街の活性化を図る。	主たる内容	市道2-643号線（東陽町3丁目）の道路整備 延長 L=125m 幅員 W=8.5m						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	平成26年度～平成33年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 計画 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・用地測量		・用地取得 201㎡ ・物件移転補償 3件 ・道路詳細設計		(H27繰越分) ・用地取得 201㎡ ・物件移転補償 3件 (H28契約分) ・用地取得 195㎡ ・物件移転補償 1件		・道路新設改良工事 75m		
成果		平成28年度までに道路用地の面積割合で全体の約58%を取得することができた。								
課題		用地取得に難航している。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（%）			—	30.6	58.4	58.4	58.4	
活動指標		道路整備率（%）			—	—	—	66.4	66.4	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	40,753	65,652	20,000	合計	65,651,843円		
	財源	特定財源	0	0	16,587	0	需用費	11,000円		
		一般財源	0	40,753	49,065	20,000	委託料	449,809円		
	職員人件費②		0	3,682	6,174	2,807	工事請負費	1,080,000円		
	総事業費（①+②）		0	44,435	71,826	22,807	公有財産購入費	35,034,100円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		210,623		28年度特定財源名称				
		28年度までの累積事業費		108,857		繰越金				
30年度以降の事業費見込		81,766								
補償、補填及び賠償金		29,076,934円								

会計名			市道2-643号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	歩道付きの道路を整備することで市役所利用者の利便性の向上と、地域住民の交通安全の確保が図られる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	東陽町名店街ビル周辺の土地利用の変化にあわせて事業を行い、用地取得費及び物件補償費の縮減を図った。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性が高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	市役所利用者及び地域住民の利便性が向上すると共に、安全で円滑な交通が確保できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
	用地取得を進め、早期に工事完了を目指す。				

会計名			市道2-496号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	歩道・自転車道の整備							
	目的	伝統的な祭りである万燈祭等、歴史・文化に配慮し、既存道路の拡幅による歩車分離・電線類の地中化を行うことで、歩行者・自動車等、道路交通の安全性の確保、生活基盤及び地域の住環境の向上を図る。	主たる内容	市道2-496号線（起点：銀座4丁目～終点：新栄町7丁目）の道路整備 延長 L=360m 幅員 W=17.5m~11.0m 車道幅員 7.0m 歩道幅員 4.0m 電線類地中化						
	位置づけ	関連計画	中心市街地活性化基本計画、無電柱化推進計画							
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	平成15年度～平成31年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・用地取得	82㎡	(H26繰越分)	・用地取得	70㎡	(H27繰越分)	・用地取得	85㎡	
・物件移転補償		6件	・物件移転補償	6件	・物件移転補償	6件	・物件移転補償	2件		
・道路新設改良		130m	(H27契約分)	・用地取得	228㎡	(H28契約分)	・用地取得	219㎡		
			・物件移転補償	6件	・物件移転補償	7件	・物件移転補償	135m		
			・道路新設改良	160m	・道路新設改良	115m				
成果		平成28年度までに道路用地の面積割合で全体の約91%を取得し、道路整備を計画どおり着実に実施できた。								
課題		事業に対する理解が得られず、用地交渉が難航している。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標	道路用地の面積取得率（%）				79.0	84.3	91.4	94.4	100.0	
活動指標	道路整備率（%）				18.1	40.3	56.7	75.4	100.0	
他市との比較検証	_____									
C 事業コスト V	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費①		166,578	216,707	256,475	126,071	合計	256,475,349円		
	財源	特定財源	15,105	25,608	64,871	105,739	需用費	23,700円		
		一般財源	151,473	191,099	191,604	20,332	委託料	19,179,523円		
	職員人件費②		12,812	12,457	12,817	6,753	工事請負費	92,196,360円		
	総事業費（①+②）		179,390	229,164	269,292	132,824	公有財産購入費	38,238,172円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		2,180,993		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		1,828,070		社会資本整備総合交付金（国）						
30年度以降の事業費見込		226,852		繰越金						

会計名			市道2-496号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	道路を拡幅し、歩道設置、電線類の地中化を行うことにより、交通安全の確保、市民生活の利便性が向上する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	道路整備に合わせて、電線類の地中化を図るため、効率的に事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることで、中心市街地の活性化・地域生活基盤の向上が図られる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も計画通りに用地取得、道路整備を進めていく。					

会計名		市道01-25号線他電線類地中化事業				担当部	建設部		
一般会計						担当課	道路建設課		
款	項					目	担当係	道路整備第1係	
8	4					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	歩道・自転車道の整備						
	目的	歩道内の電線類を地中化することで、安全で快適な歩行空間を確保し、市民が安心して歩けるまちづくりを進める。 また、道路内の電線類を地中化することで緊急輸送道路としての機能を確保する。	主たる内容	市道01-25号線（起点：東陽町2丁目～終点：大手町5丁目）の道路整備 延長 L=533m 幅員 W=20m（両側歩道 W=3.5m） 電線類地中化 バリアフリー化					
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、無電柱化推進計画						
		根拠法令	道路法、電線共同溝の整備に関する特別措置法						
		対象者	市民	事業期間	平成20年度～平成31年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・道路新設改良 136m （電線類地中化を含む）		（H26繰越分） ・道路新設改良 136m （電線類地中化を含む） （H27契約分） ・道路新設改良 137m （電線類地中化を含む）		・道路新設改良 44m （電線類地中化を含む）		_____	
成果		電線類の地中化及び歩道のバリアフリー化工事を行い、緊急輸送道路の機能確保及び安全で快適な歩行空間を整備することができた。							
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		道路整備率（％）		67.2	92.8	93.0	93.0	100.0	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費①		57,852	232,250	29,764	0	合計	29,763,728円	
	財源	特定財源	1,149	25,308	5,208	0	工事請負費	23,261,040円	
		一般財源	56,703	206,942	24,556	0	補償、補填及び賠償金	6,502,688円	
	職員人件費②		5,209	5,406	3,673	0			
	総事業費（①+②）		63,061	237,656	33,437	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		711,379		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		682,276		社会資本整備総合交付金（国）					
30年度以降の事業費見込		29,103							

会計名			市道01-25号線他電線類地中化事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	4	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	電線類地中化は、緊急輸送道路の機能確保及び歩行者の安全で快適な歩行空間を確保するうえで必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	電線類地中化に合わせて、歩道のバリアフリー化も行うため、効率的に事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良整備であり、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
県事業と事業調整を図りながら、事業を推進する。					

会計名 一般会計		都市計画道路3・4・551刈谷環状線電				担当部	建設部		
款	項	目	線類地中化事業				担当課	道路建設課	
8	4	3					担当係	道路整備第1係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	歩道・自転車道の整備						
	目的	歩道内の電柱及び電線を地中に埋設することで、安全で快適な歩行空間を確保し、市民が安心して歩けるまちづくりを進める。				主たる内容	(都)刈谷環状線(起点：高松町1丁目～終点：住吉町3丁目)の道路整備 延長 L=474m 幅員 W=15m 電線類地中化 バリアフリー化		
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、無電柱推進計画						
		根拠法令	道路法、道路構造令、電線共同溝整備等に関する特別措置法						
		対象者	市民			事業期間	平成25年度～平成35年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・電線類地中化予備設計 L=474m ・道路詳細設計 L=474m		・電線類地中化詳細設計 L=474m		・電線類地中化工事 L=127m		(H28繰越分) ・電線類地中化工事 L=127m (H29契約分) ・電線類地中化工事 L=153m	
成果		各電線管理者等と協議を行い、平成28年度から道路整備（電線類地中化及びバリアフリー化）工事に着手できた。							
課題									
指標名称（単位）					実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
活動指標	道路整備率（％）				—	—	0.0	25.5	48.1
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		7,236	8,964	17,101	119,365	合計 17,100,631円		
	財源	特定財源	0	0	1,298	17,582	補償、補填及び賠償金 17,100,631円		
		一般財源	7,236	8,964	15,803	101,783			
	職員人件費②		1,901	2,115	4,455	5,235			
	総事業費(①+②)		9,137	11,079	21,556	124,600			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			1,121,627	28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費			33,301	電線共同溝建設負担金					
30年度以降の事業費見込			968,961						

会計名 一般会計			都市計画道路3・4・551刈谷環状線電 線類地中化事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	道路整備第1係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	電線類地中化は、緊急輸送道路の機能確保及び歩行者の安全で快適な歩行空間を確保する上で必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	電線類地中化に合わせて、歩道のバリアフリー化を実施することでコストの縮減を行い、効率的な事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良事業であるため、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることができる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成28年度より、道路新設改良工事（電線類地中化工事含む）を実施。						

会計名 一般会計		都市計画道路3・4・569刈谷駅前線道				担当部	建設部		
款	項	目	路新設改良事業			担当課	道路建設課		
8	4	3				担当係	道路整備第2係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	歩道・自転車道の整備						
	目的	刈谷駅北口周辺における自動車交通の円滑化及び安全性の向上を図るとともに、安全で安心な歩行空間の確保と、まちづくりと一体となった新たなにぎわい空間を創出し、刈谷駅北口のシンボルロードづくりを進める。	主たる内容	(都)刈谷駅前線(起点：相生町2丁目～終点：桜町1丁目)の道路整備 延長 L=250m 幅員 W=18.0m 車道幅員 5.0m(一車線、一方通行) 歩道幅員 3.5m~9.5m 電線類地中化 バリアフリー化 交差点改良 2箇所					
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、無電柱化推進計画						
		根拠法令	道路法、電線共同溝の整備等に関する特別措置法						
		対象者	市民	事業期間	平成27年度～平成32年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
				<ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化予備設計 交差点詳細設計 		(H27繰越分) <ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化予備設計 交差点詳細設計 (H28契約分) <ul style="list-style-type: none"> 道路詳細設計 電線類地中化詳細設計 連絡通路延伸詳細設計 交差点改良工事 		<ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化工事 175m 	
成果		警察と協議を行い、道路線形について決定するなど、着実に整備を進めることができている。道路デザインについては、ワークショップを開催し、地域住民の意見や提案をふまえて決定するなど、市民と一体となったまちづくりを推進できている。							
課題		駅前で供用されている道路のため、仮設道路期間を減らし、工事の早期完成を目指さなくてはならない。地域住民、商店街組合、行政が協働して周辺のまちづくりと一体となった新たなにぎわい空間の活用を行っていく必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標	電線類地中化率(%)		—	—	—	35.0	70.0		
活動指標	道路整備率(%)		—	—	—	—	70.0		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	4,698	84,835	82,813	合計	84,835,080円	
	財源	特定財源	0	0	10,962	23,737	委託料	45,322,200円	
		一般財源	0	4,698	73,873	59,076	工事請負費	39,512,880円	
	職員人件費②		0	3,682	3,282	3,718			
	総事業費(①+②)		0	8,380	88,117	86,531			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		827,794		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		89,533		繰越金					
30年度以降の事業費見込		655,448							

会計名 一般会計			都市計画道路3・4・569刈谷駅前線道 路新設改良事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	道路整備第2係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	交通拠点となる刈谷駅にふさわしい、賑わい空間を創出し、活性化を図る必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	地元住民、商店街組合、地元企業などが参画するワークショップと連携し、道路線形やデザインを決定した。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷駅北口のシンボルロード作りにあたり、地元ワークショップで聴取した意見を参考に事業を進めていくのは、行政として必要な役割である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	地元ワークショップと連携し、事業の推進を行うことにより、地域住民等と一体となったまちづくりが実施できている。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
刈谷駅北地区再開発事業との工程調整しながら、事業を進める。						

会計名 一般会計			歩道整備事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課		
8	2	3					担当係	道路整備第2係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	歩道・自転車道の整備							
	目的	既存の歩道を見直し、段差等を解消することで、誰もが歩きやすい安心安全な歩道空間を形成する。			主たる内容	市内全域の歩道について調査・点検を行い、整備計画を策定し、順次整備工事を実施する。 ○計画策定対象歩道延長 145km				
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市計画マスタープラン							
			根拠法令	道路法						
		対象者	市民		事業期間	平成28年度 ~ 平成38年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		_____		_____		・計画策定業務委託 1式		・歩道詳細設計 1式 ・歩道整備工事 220m		
成果		歩道整備計画を策定し、優先順位の設定を行なった。								
課題										
指標名称（単位）					実績値			目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		歩道整備率（％）					—	—	0.2	1.0
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	6,156	38,000	合計		6,156,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		6,156,000 円	
		一般財源	0	0	6,156	38,000				
	職員人件費 ②		0	0	0	0				
	総事業費（①+②）		0	0	6,156	38,000				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			3,070,000	28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費			6,156							
30年度以降の事業費見込			3,025,844							

会計名			歩道整備事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	歩道を整備することにより、歩行者の安全を確保する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	順次、歩道整備を進めていくことにより、事業の効果が早く確認できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良工事であり、道路管理者が行なうべき公共性の高い工事である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	歩道を整備することにより、歩行者が安全に通行できるようになる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
整備計画を基に計画的に事業を進めていく。					

会計名 一般会計			駐輪場整備事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	4	7					担当係	道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	駐車場・駐輪場の整備						
	目的	自転車利用者の利便性の向上と違法駐輪を無くし、交通の安全と環境美化を図る。	主たる内容	駐輪需要の増加に伴い、駐輪場の計画的整備を行う。					
	位置づけ	関連計画		都市計画マスタープラン、刈谷駅周辺駐輪場整備基本計画					
		根拠法令		建築基準法、刈谷市自転車等の放置防止に関する条例					
		対象者	市民	事業期間	平成6年度 ~ 平成29年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・野田新町駅南口駐輪場整備		・刈谷駅南口第4駐輪場整備		・富士松駅南口第2駐輪場整備 ・野田新町駅南口駐輪場整備 ・用地取得 275㎡		・用地取得 100㎡	
成果		野田新町駅南口駐輪場の駐輪台数を増加させる改良を行い、混雑緩和に寄与することができた。また、富士松駅南口第2駐輪場を整備することにより、駅周辺の違法駐輪を無くすことができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		駐輪場整備箇所（箇所）			1	1	2	—	—
成果指標		自転車収容台数合計（台）			7,508	8,329	9,132	9,132	9,132
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		31,533	57,441	87,966	0	合計	87,966,086 円	
	財源	特定財源	8,500	0	8,000	0	需用費	11,048 円	
		一般財源	23,033	57,441	79,966	0	役務費	77,000 円	
	職員人件費 ②		3,309	2,899	1,719	0	委託料	8,073,394 円	
	総事業費（①+②）		34,842	60,340	89,685	0	工事請負費	51,004,080 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		1,139,199		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		1,102,693		市町村補助金（県）			
30年度以降の事業費見込		36,506							
28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	

会計名			駐輪場整備事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	4	7			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	駐輪場利用者の利便性向上、及び違法駐輪の削減のために必要な事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	計画的に事業用地の確保、駐輪場の設置を行っており、効果の確認ができる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	普通	駐輪場利用者の利便性向上を図るとともに、違法駐輪をなくす事により、安全で快適な歩行空間を確保するなど、公共性の高い事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	普通	駐輪場の新設・増設により、駐輪場が利用しやすくなるとともに、違法駐輪の減少と環境美化に繋がる。	
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	用地取得を行い、周辺整備に着手する。				

会計名 一般会計			橋りょう補強事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	4					担当係	道路整備第1係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防災						
		施策の内容	災害に強いまちづくり						
	目的	避難道路に架かる橋りょうの耐震化を促進し、地震発生後の道路機能を確保することで、避難する市民の安全性を高める。			主たる内容	○橋りょうの耐震化 対象橋りょう数 29橋			
	位置づけ	関連計画 地域防災計画、地震対策アクションプラン							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成24年度～平成32年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・橋りょう耐震補強実施設計 6橋		・橋りょう耐震補強実施設計 6橋 ・橋りょう耐震補強工事 1橋		・橋りょう耐震補強実施設計 6橋 ・橋りょう耐震補強工事 7橋		（H28繰越分） ・橋りょう耐震補強工事 2橋 （H29契約分） ・橋りょう耐震補強実施設計 6橋 ・橋りょう耐震補強工事 6橋	
成果		耐震補強実施設計を行うとともに、補強工事に着手することができた。							
課題		橋りょう耐震化計画にもとづき、今後橋りょう補強について関係機関との調整が必要。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標	避難道路内の橋りょうの耐震化率（%）		—	3.4	24.1	44.8	86.2		
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		57,418	13,554	57,526	105,060	合計	57,525,520 円	
	財源	特定財源	0	0	6,218	0	委託料	8,510,400 円	
		一般財源	57,418	13,554	51,308	105,060	工事請負費	49,015,120 円	
	職員人件費②		2,745	3,447	4,220	0			
	総事業費（①+②）		60,163	17,001	61,746	105,060			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		1,089,062		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		713,954		繰越金					
30年度以降の事業費見込		270,048							

会計名			橋りょう補強事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	発災後、地域住民が避難所まで安全に移動できるよう、避難道路内にある市が管理する橋りょうの耐震化を行う必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	橋りょうの耐震化計画と長寿命化計画を調整することでコストの縮減を図り、効率的に事業を進めることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷市地域防災計画で、市の責務として「被災者等が迅速かつ安全に避難できるよう、通行確保に努める」としている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	災害に強いまちづくりを行うためには、避難道路に架かる橋りょうの耐震化が必要である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
関係課と調整しながら、耐震補強工事を順次実施し、避難道路の機能確保に努める。					

会計名			道路用地等管理事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	道路整備第2係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	取得済み道路用地等の草刈り、砕石敷均し等の維持管理を行い、安全を確保する。			主たる内容	事業着手するまでの期間、取得した道路用地の定期的な草刈を行う。また、必要に応じ安全面を考慮して砕石の敷均しを行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・道路事業用地管理（除草、砕石敷均し）		・道路事業用地管理（除草、砕石敷均し、舗装補修）		・道路事業用地管理（除草、舗装補修）		・道路事業用地管理（除草、砕石敷均し、舗装補修）	
成果		道路用地として取得した土地の維持管理が適切に行われている。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,709	2,438	18,973	4,830	合計	18,972,900 円	
	財源	特定財源	0	0	0	2	委託料	18,702,900 円	
		一般財源	1,709	2,438	18,973	4,828	工事請負費	270,000 円	
	職員人件費 ②		1,549	1,332	1,329	2,428			
	総事業費（①+②）		3,258	3,770	20,302	7,258			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			交差点改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	事業推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	幅員が狭く右折帯が設置されていない主要交差点に右折帯を設置し、交通渋滞の緩和を図る。	主たる内容	○改良箇所 21箇所 ○未改良箇所 交差点改良事業による整備予定 2箇所（稲場町、司町） 道路事業など他事業による整備予定 2箇所（中島町、今川町）					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成5年度 ~ 平成29年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
				・野田町十三塚交差点 用地取得 64㎡ 右折帯設置 1箇所		(H27繰越分) ・野田町十三塚交差点 右折帯設置 1箇所			
成果		野田町十三塚交差点工事が完了したことにより、交通渋滞の緩和を図ることができた。							
課題		用地取得に難航している。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標	交差点改良箇所数（箇所）			—	1	—	—	—	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	14,089	9,137	0	合計	9,137,440 円	
	財源	特定財源	0	0	9,137	0	工事請負費	9,137,440 円	
		一般財源	0	14,089	0	0			
	職員人件費 ②		0	1,567	938	0			
	総事業費（①+②）		0	15,656	10,075	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		繰越金					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			市道3-347号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	事業推進係	
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	企業立地の促進を図るため、工業用地の基盤となる道路整備を行なう。		主たる内容	市道3-347号線（野田町新田）の道路整備 延長 L=620m 幅員 W= 9m				
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市都市計画マスタープラン、企業立地推進ビジョン						
			根拠法令	道路法					
		対象者	市民	事業期間	平成28年度 ~ 平成32年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		_____		_____		・道路予備設計		・道路詳細設計 ・道路新設改良工事 110m	
成果		道路計画を立案することができた。							
課題		用地取得に関係者との調整が必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		道路整備率（％）			—	—	—	17.7	58.9
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	2,106	82,500	合計	2,106,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,106,000 円	
		一般財源	0	0	2,106	82,500			
	職員人件費 ②		0	0	938	3,187			
	総事業費（①+②）		0	0	3,044	85,687			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			道路調査事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課		
8	2	3					担当係	事業推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	地区要望等による新規道路計画の検討・調査を行うと共に、各事業の計画・中間・完了段階に交通量調査等を行い、計画の基礎資料収集・事業の効果確認を行い、適正な事業進捗を図る。	主たる内容	○南北縦貫道路 道路予備設計 L=1.0km 橋梁予備設計 1橋 交差点詳細設計 1箇所 現況、用地測量 ○市道01-29号線 歩道詳細設計 L=250m 現況測量 L=250m						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令		道路法						
		対象者	市民		事業期間	平成25年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・交通量調査業務委託 交差点交通量調査 12箇所 歩道橋交通量調査 3箇所 ・市道02-19号線他 道路設計 L=0.07km 平板測量 A=3,200㎡ ・環状交差点導入検討業務委託		・交通量調査業務委託 交差点交通量調査 5箇所 ・用地測量業務委託 市道01-29号線 L=250m ・歩道施設点検業務委託 歩道施設点検		・南北縦貫道路 道路予備設計 L=1.0km 交差点詳細設計 1箇所 橋梁予備設計 1橋 現況、用地測量 ・市道01-29号線 歩道詳細設計 L=250m 現況測量 L=250m		_____		
成果		各種検討の基礎資料となる交通量調査を実施することができた。また、地区と調整を図りながら道路設計を進めることができた。								
課題										
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費 ①		10,093	9,521	45,819	0	合計	45,818,934 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	45,818,934 円		
		一般財源	10,093	9,521	45,819	0				
	職員人件費 ②		3,661	3,290	5,627	0				
	総事業費（①+②）		13,754	12,811	51,446	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								